

おろち (2008)

メディア 映画
ジャンル ホラー ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 107分
初公開日 2008/09/20
公開情報 東映

【キャッチコピー】

美の崩壊は、女の最期
29歳を過ぎると、姉妹は壊れ、狂い始める…。

【解説】

楳図かずおの同名マンガを、「リング」シリーズの高橋洋脚本、「予言」「ドリーム・クルーズ」の鶴田法男監督で映画化した怪奇ホラー。原作の中の『姉妹』と『血』の2編をベースに、ある呪われた宿命に取り憑かれた美人姉妹の心の闇に焦点を当て、美に執着する姉妹が辿る悲しき運命を、謎の美少女おろちの目を通して綴る。美人姉妹役に木村佳乃と中越典子、おろち役に「神様のパズル」の谷村美月。

100年に一度深い眠りにつき、美しい少女の姿のまま人間界を彷徨い続ける謎めいた存在、おろち。人間の業が引き起こす悲劇を見つめ続ける彼女は、ある時幼い姉妹、一草と理沙を目にして2人が暮らす門前家に潜り込む。やがてその家の家政婦におさまったおろちは、銀幕の大女優として名を馳せる姉妹の美しき母・葵の秘密を知ることになる。門前家の女たちは代々29歳になるとその美貌が醜く崩れていく運命にあったのだった。その後、門前家を後にしたおろち。それから20年ほどがたち、姉妹が29歳を迎えようとしているとき、再び門前家に舞い戻ってくるおろちだったが…。

【クレジット】

監督	鶴田法男	
企画	黒澤満	
	遠藤茂行	
プロデューサー	佐藤現	
	近藤正岳	
	服部紹男	
	山本勉	
共同プロデューサー	伊藤成人	
	藤森匠	
原作	楳図かずお	Kazuo Umezu
脚本	高橋洋	
撮影	柴主高秀	
美術	山崎秀満	
衣装	宮本まさ江	
編集	須永弘志	
音楽	川井憲次	Kenji Kawai
主題歌	柴田淳	『愛をする人』
照明	蒔苗友一郎	

録音	山田幸治		
整音	室菌剛		
スクリプター	岩倉みほ子		
助監督	高橋正弥		
出演	木村佳乃		門前葵／門前一草
	中越典子		門前理沙
	谷村美月		おろち／佳子
	山本太郎		大西弘
	嶋田久作	Kyusaku Shimada	西条
	佐藤初		少女時代の一草
	山田夏海		少女時代の理沙
	大島蓉子		昌江
	エド山口	Edo Yamaguchi	パパ
	楠見薫		
	鯉沼トキ		
	久世星佳		
	国枝量平		
	研丘光男		
	諏訪太郎		
	斎藤康弘		
	みやなおこ		
	久保田麻三留		
	島田弘久		
	佐孝康夫		
	徳建人		
	平田忠継		
	小野義行		
	大口与枝		
	眞島秀和		